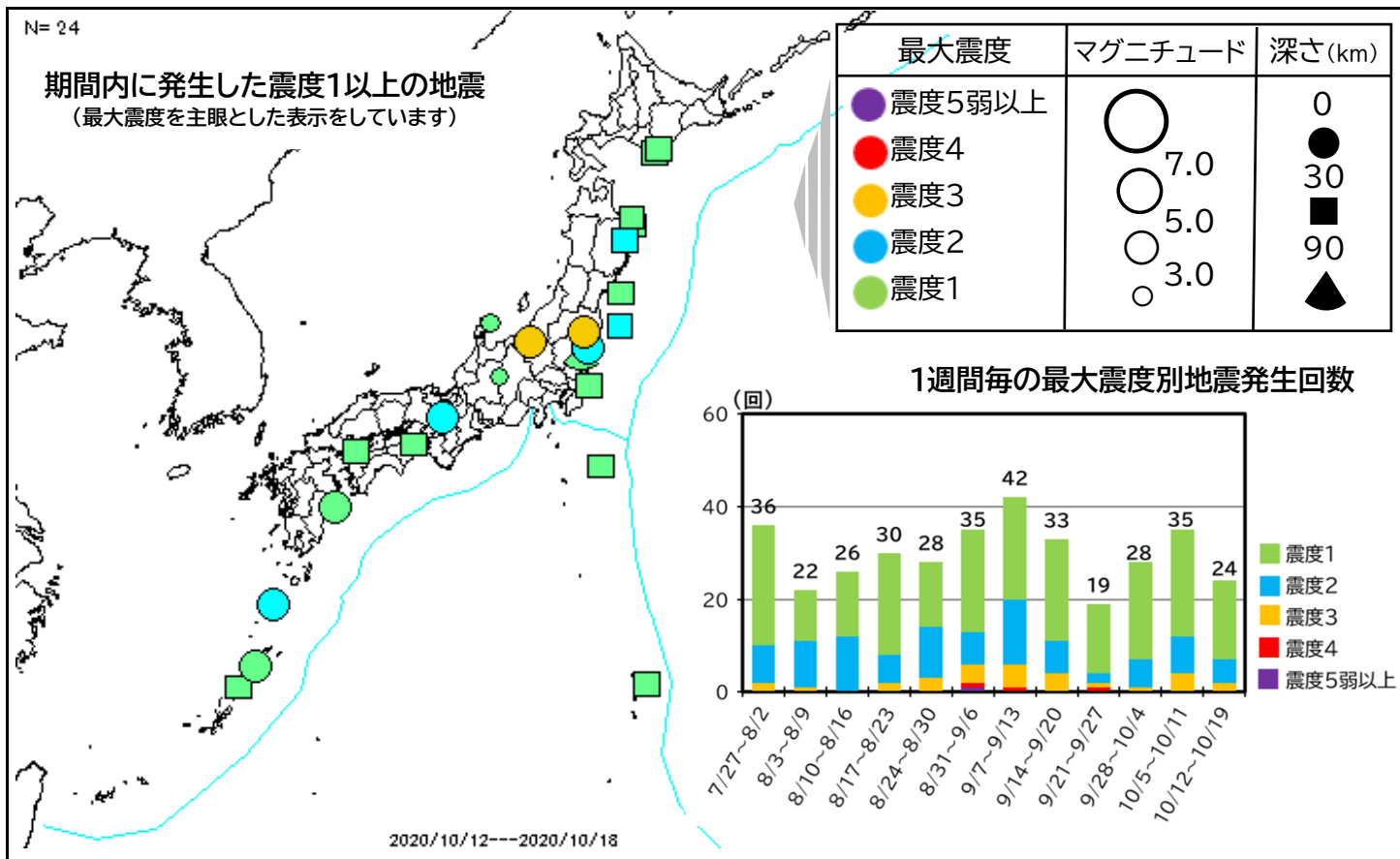


この期間の最大震度は3

本資料は上記期間に国内で発生した震度1以上の地震についてまとめたもの (出典:気象庁震度データベース/地震情報)



主な地震の発生状況

■ この期間、震度1以上の地震が24回発生。最大震度は3 ■

- ・17日13時00分に新潟県中越地方で発生した地震(M3.7、深さ10km)により、新潟県十日町市で震度3を観測。この地震は地殻内で発生したもので、2011年3月12日に発生した地震(M6.7、最大震度6弱)の近傍で発生。今回の震央付近では、2011年3月12日の地震が発生するまで、あまり地震活動がみられていなかった。
- ・(期間外)19日03時28分頃に岐阜県美濃中西部で発生した地震(M4.1、深さ40km:暫定値)により岐阜市、名古屋市、滋賀県長浜市で震度3を観測。この地震はフィリピン海プレート内部で発生。この震央近傍は、あまり地震活動が活発な所ではないが、今回の震央の南西数km付近で1998(H10)年4月からまとまった活動がみられ4月22日三重・岐阜県境付近を震源とする地震(M:5.5、深さ8km)で、愛知県津島市、滋賀県永源寺町等で震度4を観測している。

トピックス

■ 新潟県中越地震 ■ (この期間の過去の被害地震)

2004年(平成16年)10月23日17時56分、新潟県中越地方を震源とするマグニチュード6.8、深さ13kmの地震が発生、新潟県川口町(当時)で震度7を観測した。

この地震の主な特徴として以下のことがあげられる。

- ・余震活動が活発。本震・余震ともに規模はM6台で、大規模地震とはいえないが震源がごく浅かったため、Mの割に揺れが激しく、10月31日までに6強が2回、6弱が2回、5強が6回、5弱が5回発生。
- ・震度計で初めて震度7を記録。
- ・上越新幹線が営業運転中に初めて脱線するなど交通にも大きな影響。
- ・大規模な土砂災害が発生。新潟県山古志村(当時)は約2年間全村避難を余儀なくされた。
- ・新潟県を中心に68人が死亡、4,805人が負傷。
- ・死者68人のうち、避難生活でのストレスや病気の悪化による関連死が52人に上り、震災関連死が注目を集めた。
- ・車中避難による「エコノミークラス症候群」も注目された。避難所で過ごすストレスを避けるために車の中で寝泊まりをした結果、肺塞栓症を引き起こし4人が亡くなり危険性が指摘された。

